

宮代版スーパー・シティ構想

概要	<p>東武動物公園駅から東武動物公園、新しい村までのエリアを中心としたコンパクトな地域拠点整備と小学校の多機能化・複合化による地域の活性化を図ります。また、AIやIoTを活用した安全で利便性の高い暮らしを確保するとともに、再生可能エネルギー設備を整備することにより、災害時にも安心できるまちづくりと脱炭素化を同時実現するまちづくりを目指します。</p>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮代らしさ」を価値として高める必要性 ・高齢化の進展等による地域コミュニティ力の低下 ・近年の大型災害頻度の増加に対する備え・避難所等への災害停電時の電力供給 			
	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	歩いて楽しい中心エリアの整備と小学校の再整備による地域活性化	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・東武動物公園駅東口と西口から東武動物公園、新しい村までを、ウォーカブルな道へ整備することで、エリアの価値を高めるとともに、新しい村を魅力的な空間に変えていきます。 ・和戸及び姫宮地域周辺の小学校を「地域の中心施設」として、多機能化・複合化します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携の体制づくり ・地域資源の活用
スマート	AIやIoTを活用した安全で利便性の高い暮らしの確保	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の災害リスクの増大に伴い、ICTを活用した災害状況の可視化や情報発信の強化に取り組みます。 ・スマート農業を導入し営農の継続性を確保・推進します。 ・AIやIoTを活用し、地域公共交通や公共施設利用の利便性を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報デジタル化 ・スマート農業 ・大学連携
レジリエント	災害時でも途絶えない電源の確保と脱炭素社会に向けた取り組み	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等に再生可能エネルギー設備を整備し、地域のレジリエンス(災害時や停電時に対する強靱性の向上)と脱炭素化を同時実現するまちづくりを目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EVシェア・EV充電器 ・蓄電池 ・太陽光発電

宮代版スーパー・シティ構想

災害時でも途絶えない電源の確保と脱炭素社会に向けた取り組み

- ・再生可能エネルギー設備の整備
(太陽光発電、電気自動車、EVシェア等)



AIやIoTを活用した安全で利便性の高い暮らしの確保

- ・ICTを活用した災害状況の可視化や情報発信の強化
- ・スマート農業の導入
- ・AIやIoTを活用し、地域公共交通や公共施設利用の利便性向上



歩いて楽しい中心エリアの整備

- ・東武動物公園駅東西口から東武動物公園、新しい村までをウォーカブルな道へ整備
- ・新しい村を魅力的な空間に整備



小学校の再整備による地域活性化

- ・小学校を「地域の中心施設」として、多機能化・複合化
(和戸地区、姫宮地区)